

会議等の概要（議事録）

名 称	市民の皆さんとミーティング（地域巡回）①
開催日時	平成28年7月12日（火） 19:00～20:30
開催場所	扇淵地域センター 大会議室
出席者	市民参加者…35人 市長、企画部長、次長、総合政策課参事・補佐、防災危機管理室長・副室長、総務課秘書係長・主査、地域情報課長・広報広聴係長、扇淵地域センター所長
案 件	①市長市政報告 ②市民の皆さんとミーティング（意見交換）
概 要	<p>①市長市政報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代市の現状 ・能代市がめざすまちづくり ・能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略、人口ビジョン ・再生エネルギーについて <p>②市民の皆さんとミーティング（意見交換）</p> <p>Q 旧東能代中学校跡地について、協議会から提案書を出しているがどうなっているか。</p> <p>A 提案書に記載されている施設に係る課の担当者と会議を開いている。その中でどれだけの需要があるのか、また、その需要は今の状況においてどうなのかなど十分検討した上で施策を考えているのもう少し時間がほしい。</p> <p>Q 職員数が減っているが、仕事を外部へ委託するなどの考えはあるのか。</p> <p>A 可能なものは指定管理や委託にして外部へ発注している。さらに精査し、委託や指定管理を進めていきたい。</p> <p>Q 風車の部品等を市内の業者へ発注し、市内の中小企業が少しでも潤う方策はないか。</p> <p>A 3,000kWクラスの風力発電の部品数は2万点もある。部品の調達について、地元からできるだけ調達してほしいとお願いしているが、技術力が追い付いていない。地元で作れるものが出てくれば使ってほしいと思っている。</p> <p style="padding-left: 2em;">再生可能エネルギーの最終的な目標は、能代にブレード工場を作ることだ。エネロン社に願っている。</p> <p>Q 能代工業団地の活用として、水が豊富であると考え。また、排水についても、下流に市町村がないため最適地だと思う。排水問題で反対され進出できない企業もいると思うので、利点をアピールし進出を促してほしい。</p> <p>A 杏林製薬が能代に工場を建てた理由が、まさに水が豊富で、終末処理場が近くにあったからである。</p> <p style="padding-left: 2em;">杏林製薬以外にもたくさんの工場が進出している。来てくださりだけでなく、来てくれた企業を大切に、能代の良さを知ってもらい、企業が活動しやすい環境を作っていきたい。</p>

Q ニツ井で「恋文の里」として移住者を募集したが応募がなかった。八峰町では体験ツアーとして観光資源を使ったイベントの参加者を募集し30組の応募があった。能代市にもよいものがたくさんあるのでやってみてはどうか。

A 総合戦略の「基本目標3」に「移住定住対策」を掲げている。

Uターン者は6組位いるが、能代に全く縁のない方が定住しているのかという点と詳細は分からない。

何を売りにするか、秋田県以外から移住してもらうにはどうしたらよいかなどを考えなければならない。能代に縁のある人にPRする必要もある。

Q バスケットの街に関連してバスケットシューズの関連工場を誘致できないか。

A 「バスケットの街」と言えるのは能代工業高校があるからだ。ふるさと納税で「バスケットの基金」を作り、用具の提供など気持ちで応援したい。

Q 高校を出ると進学で東京へ行く。そのまま就職し、能代に戻ってこない。今、学費は高くなっている。能代市へ帰ってくる人に、奨学金の救済制度を設けることは出来ないか。給付型の奨学金制度を考えてほしい。

A 能代市には二つの奨学金がある。一つは一般的な奨学金で全額返済してもらうもので、もう一つは、火力協力金の7億円の一部を活用した「ふるさと奨学金」で卒業後に能代市へ帰ってきた場合は「半額返済なし」としている。

Q 北前船の話聞いた。当時、取り扱っていた品物は、秋田港は90%以上が「米」であったが、能代港は「米」は50%位で、それ以外に米代川から運ばれてきた品物を扱っていた。ぜひ、昔のような形で能代港の利活用をしてほしい。

A 能代市でも北前船フォーラムに参加している。北前船で能代港は活用されていたのだから、これからも参加するようにしたい。

レアメタルのリサイクルは量が少ないためトラックによる輸送が主流になっている。いずれ取扱量を増やし、港を活かしたい。

Q 檜山に北限の茶がある。昔、東能代駅校内に「お茶の木」があった。東能代駅の駐車場（ロータリー）に、お茶の木を植えることができないか。

A 東能代駅にお茶の木を植えるのは、北限のお茶の宣伝になると思う。大変よいことだと思うので、お茶関係者と相談していく。